

公益社団法人神戸女学院めぐみ会 2025年度（令和7年度）事業報告

自 2025 年（令和 7 年）4 月 1 日 至 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日

◆事業部門

I. 公益目的事業

1. 公益目的事業 1

学校法人神戸女学院の教育・研究を振興し、私立学校による女子教育のより一層の充実を図り、有能な人材を世に送り出すことをもって社会に貢献する事業

(1) 学院めぐみ教育基金寄付

【事業の内容】神戸女学院が国内外からすぐれた学者、教育者を客員教員として招聘するための基金へ寄付をする。

【実績・成果】神戸女学院愛校バザーを 2025 年 5 月 24 日（土）に神戸女学院と共催し、バザー寄付・バザー収益金より 710,000 円を寄付した。

(2) 学生生徒活動の助成金

【事業の内容】神戸女学院の学生生徒の国際交流活動・社会貢献活動への助成をする。

【実績・成果】神戸女学院愛校バザーを 2025 年 5 月 24 日（土）に神戸女学院と共催し、バザー寄付・バザー収益金より 3,560,000 円を寄付した。

(3) 学院事業協賛寄付

【事業の内容】神戸女学院への寄付として指定された寄付金による寄付を実施する。（キリスト教挙式サポート事業は休止中）

【実績・成果】神戸女学院教育振興会（学院の寄付受付窓口）及び神戸女学院への寄付として当法人が受けた寄付 236,000 円を学院に寄付した。

(4) めぐみ会賞の授与

【事業の内容】神戸女学院の学生・生徒の自主的な活動を称え、支援する。

神戸女学院の立学の精神にふさわしい課外活動を行っている大学学生、中高部生徒の団体に賞金または記念品を授与する。

【実績・成果】神戸女学院大学・中高部から推薦のあった大学 9 団体、中高部 3 団体の中から、めぐみ会賞規程の選考基準に基づき、理事会において検討・選出し、次のとおり授与した。

2025 年 10 月 24 日（金）大学「学生 YMCA」「聖歌隊ハンドベルクワイア」各団体に 5 万円授与

2026 年 2 月 9 日（月）中高部「礼拝オルガニスト」「JS 清掃部」各団体に記念品授与

(5) 神戸女学院創立 150 周年記念寄付事業

【事業の内容】神戸女学院創立 150 周年を記念し、神戸女学院への教育振興寄付を行う。2024 年度（令和 6 年度）に引き続き「神戸女学院創立 150 周年記念めぐみ寄付」を募り、積立中の「寄付事業積立金資産」に追加し、2025 年（令和 7 年）の創立 150 周年時に寄付、寄付講座、寄付講演会を実施する。

【実績・成果】広報誌、ホームページ等で「神戸女学院創立 150 周年記念めぐみ寄付」を募り、2025 年度（令和 7 年度）は 9,048,000 円の寄付を受けた。また神戸女学院創立 150 周年記念めぐみオリジナルグッズ売上 1,458,100 円とコンサートチケット収入 2,905,000 円を神戸女学院創立 150 周年記念事業収益に計上した。

・神戸女学院「創立 150 周年記念募金」に 1 億円寄付

・神戸女学院創立 150 周年記念めぐみ寄付講座（大学学生対象）

大学にて 8 講座を開催

講師：岡崎 成子氏、西田 公昭氏、武内 陶子氏、恒川 久美氏、葉加瀬 太郎氏、
山極 壽一氏、三島 有紀子氏 他 1 名

・神戸女学院創立 150 周年記念めぐみ寄付講演会（中高部生徒対象）

中高部にて 5 講演会実施

講師：佐野 ほづみ氏、高島 峻輔氏、金原 瑞人氏、竹内 和雄氏、津川 恵理氏

- ・神戸女学院創立 150 周年記念めぐみ講演会 2025 年 10 月 18 日（土）
講演テーマ：森山良子コンサート
講師：歌手 森山 良子氏
受講者数：622 名

◎公益目的事業 1 実施のための財源

- ・神戸女学院愛校バザー開催時に会員から寄せられる寄付金及びバザー収益
- ・キリスト教挙式サポート事業(休止中)
- ・寄付者が学院への寄付として指定した寄付
- ・神戸女学院創立 150 周年記念めぐみオリジナルグッズの製作販売による収益の他、講演会・演奏会の開催等による収益を充てると共に、「神戸女学院創立 150 周年記念めぐみ寄付」を募った。

2. 公益目的事業 2

信仰を育成し、知性を深めるための講演会・研究会・教室等の開催により生涯教育の場を広く一般に提供し、豊かな人間性を涵養する事業

当事業は、関心のある者すべてに公開されている。その周知方法はめぐみ会ホームページ・めぐみ会公式 SNS への掲載、ポスターの掲示、チラシの配布、新聞・行政の発行物への掲載等である。

(1) 2025 めぐみ講演会

【事業の内容】知性を深めるための講演会を開催して、広く一般を対象に生涯教育の場を提供し、豊かな人間性を育む。

【実績・成果】

- ・「グローバルな人材に求められる資質とは何かー発展途上国の開発援助を通じて感じること」

2025 年 7 月 29 日（火）

講師：世界銀行西アフリカ地域局セネガルカンントリーディレクター 三輪 桂子氏

世界銀行東南アフリカ地域局シニア給水衛生スペシャリスト 児玉 十代子氏

会場：めぐみ会館

受講者数：69 名（後日 web 配信申込者 65 名）計 134 名

2025 年度は海外で活躍する卒業生を迎え、その経験に基づく講演が幅広い年代に受け入れられ、アンケート回答も好評であった。

【課題】アンケート結果を分析し、多くの一般受講者にアピールできるテーマを選ぶ必要がある。

めぐみ会ホームページ・めぐみ会公式 SNS への掲載、西宮市の後援を得ることにより、市の発行物掲載や公民館、図書館、ホールにチラシを設置するなど幅広い広報に努めて、さらなる集客を目指す。

(2) 2025 キリスト教セミナー

【事業の内容】キリスト教についての理解を深める講座を開催することにより、キリスト教的教養を涵養し、信仰を育成する。

【実績・成果】

- ・「神戸女学院創立 150 周年一立学の祈り、先達の祈り」（全 2 回）

第 1 回 2025 年 7 月 1 日（火）

「開校前夜の祈りー少女たちと話し合えるようになりたい」

講師：学校法人神戸女学院 院長 飯 謙氏

会場：めぐみ会館

受講者数：38 名

第 2 回 2026 年 2 月 3 日（火）

「新キャンパスへの祈りーBeauty Becomes a College」

講師：学校法人神戸女学院 院長 飯 謙氏

会場：めぐみ会館

受講者数：39 名

神戸女学院創立 150 周年を迎えた年に、学院創設の歴史を学ぶ講座は好評で盛会となった。

【課題】 近隣の教会なども含め、今後も幅広く広報に努めていく必要がある。

(3) 2025 アートセミナー

【事業の内容】 芸術・文化に関するセミナーを開催することで、広く一般を対象に知識・教養を習得し、見識を深める機会を提供する。

【実績・成果】

・「名作に秘められた意味を読み解く」(全2回)

講師：大阪大学大学院人文学研究科教授・神戸女学院大学文学部非常勤講師

岡田 裕成氏

会場：めぐみ会館

第1回 2025年6月23日(月)

「ルネサンスの《愛のアレゴリー》：フィレンツェの画家ブロンズイーノの名作を読む」

受講者数：41名

第2回 2025年7月14日(月)

「知られざるアルハンブラ宮殿：イスラムの美に接続された古代ローマへの夢を読む」

受講者数：68名

【課題】 幅広い広報に努め、受講者の獲得を図る必要がある。西宮市の発行物にもセミナー案内を掲載予定。

(4) 「神戸女学院めぐみ教育基金」 招聘教員による特別講演会

【事業の内容】 学院創立75周年、90周年にめぐみ会が募った学院への寄付金を基金として、毎年バザー収益金から追加寄付している「めぐみ教育基金」をもとに、神戸女学院大学が国内外から招聘している客員教員に講演を依頼。広く一般の方に参加していただく。

【実績・成果】

・2025年度は「神戸女学院創立150周年記念めぐみ寄付」を用いて、大学にて「神戸女学院創立150周年記念めぐみ寄付講座」を開催したため休止。

(5) 講話会

【事業の内容】 神戸女学院が宗教強調週間に招く講師を迎え、講話会を開催し、神戸女学院の教育の基礎であるキリスト教に触れる機会を提供する。

【実績・成果】

・「この日から愛が新しい意味をもった ー創立の“時”を心に刻んでー」

2025年11月13日(木)

講師：日本基督教団 同志社教会牧師 菅根 信彦氏

会場：めぐみ会館

受講者数：58名

同日合同追悼会を開催 永眠者137名を追悼

(6) 外国語教室

【事業の内容】 主にネイティブスピーカーを講師とする教室を開催し、単に外国語を学習するだけでなく国際相互理解の促進を図る。

英語教室 [金曜日クラス] 講師：神戸女学院大学国際学部英語学科教授 Nathaniel Carney

[水曜日クラス] 講師：神戸女学院大学国際学部非常勤講師 小寺 里砂

【実績・成果】

会場：めぐみ会館

受講者・レッスン数	前期：[金曜日クラス] 12名 [水曜日クラス] 9名	合計 21名
	金曜日 10レッスン 水曜日 8レッスン	合計 18レッスン
	後期：[金曜日クラス] 12名 [水曜日クラス] 9名	合計 21名
	金曜日 10レッスン 水曜日 10レッスン	合計 20レッスン

【課題】 多くの方に興味を持ってもらえるような授業内容を取り入れる必要がある。めぐみ会ホームページ・めぐみ会公式 SNS への掲載、神戸女学院大学へのチラシ配布、西宮市の市政ニュースへの掲載など広報の仕方を工夫し、受講者の増員に努める。

(7) 音楽教室

【事業の内容】 地域の人々や学生・生徒に、生涯教育の一環として豊かな情緒を育む音楽教育の場を提供する。質の高い指導を廉価で提供する。

講師：

- ・ピアノ 島 敏子、新野 ダリア、都筑 麻衣子、増永 智子
- ・オルガン 片桐 聖子、前田 直子、大野 明子、山本 真希
- ・チェンバロ 秋田 直美
- ・ヴァイオリン 菊本 恭子、藤原 由美子、田原口 安代
- ・フルート 吉村 麻衣子、松田 晴香
- ・声楽・ヴォイストレーニング 松田 緑、西田 真由子、新谷 奈々、鬼一 薫

【実績・成果】

会場：めぐみ会館内の音楽室

楽器別受講者数及びレッスン数：

・ピアノ	前期：19名、112レッスン	後期：19名、143レッスン
・オルガン	前期：36名、200レッスン	後期：37名、205レッスン
・チェンバロ	前期：3名、8レッスン	後期：2名、8レッスン
・ヴァイオリン	前期：10名、41レッスン	後期：12名、52レッスン
・フルート	前期：3名、31レッスン	後期：5名、47レッスン
・声楽・ヴォイストレーニング	前期：17名、75レッスン	後期：19名、118レッスン
合計	前期：88名、467レッスン	後期：94名、573レッスン

- ・音楽教室の日頃のレッスン成果を発表する場として、2026年3月24日（火）めぐみ会館にてスプリングコンサートを開催 出演者数24名 来場者数50名

【課題】 より多くの受講者を獲得すべく、広報に努める。

(8) 各支部において一般公開の講演会や音楽会を開催する。

各支部において22回の講演会・音楽会・講習会等（別紙参照）

◎公益目的事業2実施のための財源

講演会・セミナー・教室の開催時に低廉な参加費を徴収

3. 公益目的事業3

神戸女学院在学中の受入れ留学生を含む在学学生及び卒業生に対する奨学金の授与により、学術、文化及び教育の振興・普及、国際相互理解の促進を通じて社会に貢献する事業

【事業の内容】

- ・卒業支援奨学金 対象：学費の補助を必要とする神戸女学院大学学生、中高部生徒
- ・修学支援奨学金 対象：学費の補助を必要とする神戸女学院大学2年生
- ・海外留学奨学金 対象：神戸女学院大学認定留学制度を利用して海外留学を行う学生
- ・受入れ留学生奨学金 対象：神戸女学院大学・大学院に在学中の受入れ留学生
- ・研究奨励奨学金 対象：国内外の大学院等において研究中の会員
- ・辻秀子奨学金 対象：キリスト教や聖書について研究中等の会員

【実績・成果】

各奨学金に関して審議会（審議員5名）を開催し、以下の授与候補者が理事会に推薦され、承認された。

- ・修学支援奨学金：大学2年生1名（月額4万円を4年生までの3年間）
（対象の大学3年生1名、4年生1名については引き続き授与）
- ・研究奨励奨学金：1名（20万円）

【課題】 海外留学奨学金、受入れ留学生奨学金については、大学の担当部署である国際交流センター等と情報交換し、奨学金利用の活性化を図る。

◎公益目的事業3実施のための財源

奨学資金積立基金資産およびその他の特定資産の運用益ならびに奨学金指定寄付

その他の公益目的事業

- ・神戸女学院の在学学生及び卒業生の有する各種技能・能力を社会に活かすためのコーディネート活動
- ・めぐみ会ホームページ・めぐみ会公式 SNS による広報活動、法人情報公開
- ・災害被害者支援
令和6年能登半島地震救援金に寄付として50万円を公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団に寄託

II. 収益事業

1. 結婚支援事業

【事業の内容】MMS (Megumi Marriage System) の運営

当法人の結婚支援事業は、1976年に事業開始以来長年の実績があり、当法人関係者に結婚のための出会いの場を提供している事業である。また、役員を含む会員が無報酬で運営に携わっており、会場が当法人所有の会館であるため、費用は一般の結婚紹介企業と比べて廉価である。

【実績・成果】

相談会14回、お見合い104件、婚約3件、登録者233名

III. その他の事業

【事業の内容及び実績】

当法人の会員は、神戸女学院で受けた教育をめぐみと受け止め、その感謝を公益目的事業として具現化している。そのめぐみを確認し、事業遂行の推進力とするために、「その他の事業」として、会員の友誼を深めるための行事を開催している。会員はそれぞれ支部に所属し各支部では地域の独自性を生かしながら支部会を開催している。また、会員が当法人の理念を確認する手段として、年1回会員向けに広報誌『めぐみ』を発行し、当法人の事業・会員についての情報及び学校法人神戸女学院の情報を発信している。その他、当法人のオリジナルグッズ(めぐみグッズ)を企画し、販売している。

1. 会員の友誼を深めるための行事の開催

- ・各支部における支部会の開催
2025年度は各地で支部活動が活発に行われた(別紙参照)。
- ・支部長会の開催 2025年6月12日(木)
めぐみ会館にてハイブリッド方式で行い、来館32支部、オンラインで海外2支部を含む9支部、合計41支部が参加した。

2. 広報誌『めぐみ』114号の発行 2025年5月1日(木) 発行部数37,900部

3. 記念品事業

- ・オリジナルグッズの企画と販売

4. 収蔵資料の管理

- ・所蔵資料の展示・閲覧・貸出、寄贈図書等の受入及びデータ更新を行った。

◆管理部門

I. 法人管理

1. 総会の開催

- ・2025年度定時総会 2025年6月12日(木)

2. 理事会の開催

- ・定例理事会 年間11回(8月を除く)
- ・臨時理事会 3回(5月21日(水)、6月12日(木)、8月4日(月))

II. 規則整備

- ・定款第 29 条（役員の設置） 変更
- ・定款第 30 条（役員の選任） 変更
- ・定款第 33 条（理事の職務及び権限） 変更
- ・内規第 3 条（在学経験があり卒業しなかった者の入会申請）第 1 項 改正
- ・内規第 5 条（広報誌『めぐみ』の会員への配布）第 1 項 改正
- ・内規第 11 条（教室講師） 改正
- ・特定資産取扱規程別表 改正
- ・公益充実資金取扱規程 新設
- ・奨学資金積立基金資産取扱規程 改正
- ・会員名簿取扱規程 改正
- ・参考 「神戸女学院めぐみ会寄付による教育基金規程」（学院規程） 差替
公益社団法人神戸女学院めぐみ会ソーシャルメディアポリシー 追加
支部ホームページ、Facebook、Instagram の運用について 追加

III. 会員データの管理と整備

IV. 会館管理

- ・長期計画に基づく維持管理
- ・エレベーター部品交換

V. コンピュータシステムの総合管理

- ・事務局 PC 入れ替え

◆法人の運営体制の充実を図るための取組

I. 勉強会の実施

- ・財務・会計勉強会（7 月）講師：当法人顧問公認会計士・税理士 受講者：業務執行理事
- ・沿革・事業内容勉強会（7 月）講師：代表理事 受講者：理事
- ・財務・会計勉強会（7 月）講師：会計担当理事 受講者：理事
- ・公益法人・理事に求められる資質（7 月）講師：監事 受講者：理事
- ・財務・会計説明会（11 月）講師：代表理事 受講者：事務職員

II. 理事・監事の選任

2025 年 6 月に選任された新理事・新監事は全員外部理事・監事であり、当法人は全員がめぐみ会会員であるが、年代、出身学部、職歴などが異なるため幅広い視点で事業に取り組むことができる。

III. 理事・監事の情報共有

2025 年 4 月に理事・監事のオンライン連絡グループを作成し、情報共有に活用

◆神戸女学院への協力

以下の委員会に構成員を送った。

- ・学院理事会・学院評議員会
- ・学院教育振興会役員会
- ・学院めぐみ教育基金運営委員会
- ・学院愛校バザー実行委員会
- ・学院カレンダー委員会

付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特に無い。